

製品名: WTAP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01443**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 55 kDa

抗原情報

遺伝子名	WTAP
別名	hFL(2)D; WT1-associated protein; Wilms tumor 1-associating protein; Pre-mRNA-splicing regulator WTAP
遺伝子 ID	9589
SwissProt ID	Q15007
免疫原	ヒト WTAP の組み換えタンパク質

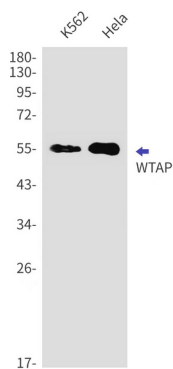
背景

ウィルムス腫瘍抑制遺伝子 WT1 は、特定の細胞遺伝子の転写および転写後制御の両方に関与していると考えられています。この遺伝子は、普遍的に発現する核タンパク質である WT1 関連タンパク質をコードしています。WT1 タンパク質と同様に、このタンパク質は核質全体およびスペckルに局在し、部分的にスプライシング因子と共局在します。この遺伝子の選択的スプライシングにより、3つの異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じます。

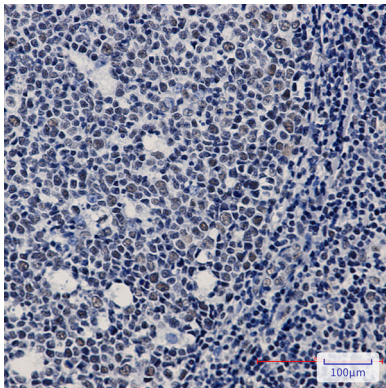
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



WTAP 抗体を使用した K562、HeLa 溶解物中の WTAP のウェスタンブロット分析。



WTAP 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。